

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月12日(日) 17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月8日(水)～12日(日) 発表

- 12日(日) 17時現在, 州内の感染者は8755人 (前日8419人), 死者は588人 (同560人)。感染が確認されたのは州内162市(同160市), 死者は63市(同32市)に達した。内訳は男性339人, 女性249人。60歳以上の死者は全体の73.4% (同82%) を占めている。
- 9日(木), サンパウロ州政府は, 携帯電話会社4社 (Vivo, Tim, Claro, Oi) の協力の下, 州内で人々が密集する場所を特定し, 人々に家に帰ようSMSを通じて警告するプログラム「インテリジェントモニタリングシステム (Sistema de Monitoramento Inteligente (SIMI))」を立ち上げた。社会的隔離の目標達成率は70%であるが, 8日(水)の州内の同達成率は49%と, 外出自粛措置開始以来最低となった。
- 9日(木), サンパウロ州は, イタウ, サンタンデール, ブラデスコ等の大手金融機関の協力の下, 約250万リアルを投じ, サンパウロ市内や他6市の貧困地域に暮らす女性裁縫家等約740人を雇用して, マスクを2百万枚生産すると発表。公衆衛生面だけでなく, 雇用創出にも資する社会保護プログラムの一環。生産報酬は2リアル/枚で, 一日で80リアル以上を得ることが可能。サンパウロ市も8日(水), 「命のための裁縫 (Costurando pela Vida)」と題した同様のプロジェクトを発表しており, 民間裁縫業者や手工芸品製造者と契約し, 医療必需品を委託生産する。投資予算は約200万リアルで, 医療用マスクを100万枚以上, 顔面防護具及び医療防護具 (医療用エプロン) をそれぞれ50万以上生産する計画。
- 9日(木), サンパウロ市は, 貧困地域の人たちに計18万食の食事を提供するプロジェクト「命のための料理 (Cozinhando pela Vida)」を開始すると発表。予算は170万リアルで, 市民社会組織に委託する。家計を支えている貧困地域の女性を優先して最大300人雇用し, 4月30日(木)からの配給を目指す。
- 9日(木), サンパウロ州政府は, ワッツアップと提携し, コロナウイルスに関する情報提供チャンネル「質問サンパウロ - 新型コロナウイルス (SP Perguntas - COVID-19)」を開始したと発表。(11)95220-2923の電話番号に「Oi」とメッセージをワッツアップで送付すれば, 同チャンネルにつながる。
- 9日(木), サンパウロ市は必要不可欠なサービスを提供している商業・サービス部門の関係者との会合を13日(月)に開催予定と発表。公共交通機関の混雑を回避するため, 営業時間の調整を行えるか話し合う。
- 9日(木), サンパウロ市は抗マラリア薬「クロロキン」を治療薬として導入すると発表。医師の処方と患者の同意が得られれば使用可能。サンパウロ市立病院では6千錠 (1千人分) 確保済みで, 更に入手予定。
- 8日(水), サンパウロ市は, 顧客から買い物の注文を受けてスーパーで購入・袋詰めし, 宅配アプリ「Rappi」の配達人に渡す仕事に従事する人員を50人募集すると発表。

2 マット・グロソ州

4月12日(日) 発表

- 12日(日) 17時現在, 州内の感染者は123人 (前日121人), うち州都クイアバ市が64人, ロンドノーポリス市が19人, シノピ市が11人と続く。死者は8日(水)夜に2人目 (82歳男性: カセレス市), 11日(土)に3人目 (34歳男性: アリプアナン市: 高血圧や糖尿病等の持病なし)が確認された。

3 マット・グロソ・ド・スル州

4月12日(日) 発表

- 12日(日) 午前11時現在, 州内の感染者は101人 (前日100人), うち州都カンポ・グランデ市が51人, ノーヴァ・アンドラジーナ市が10人, トレス・ラゴアス市が9人, ドウラードス市が7人, バタイポラン市が6人と続く。感染疑いは63人 (同47人) で, 入院患者は15人。死者は2人。

(了)